

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

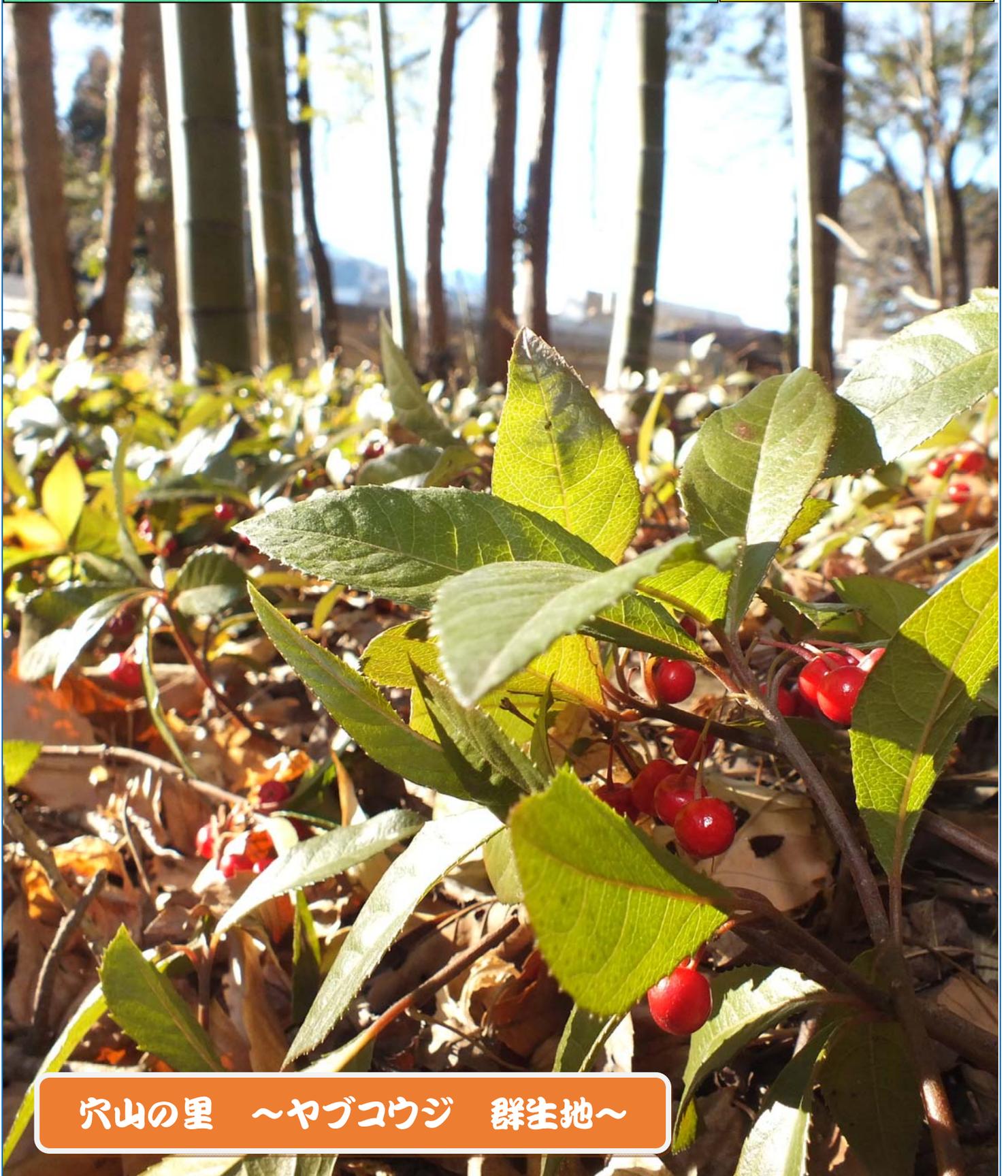
山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山の里 ～やぶコウジ 群生地～

## ～入所者の楽しい施設生活をめざして～

障害者支援施設 穴山の里

保護者会 会長 五十嵐武司



皆様 明けましておめでとうございます。  
昨年、皆様から保護者会の活動に対しご理解と、ご協力をいただきまして無事新しい年を迎えることが出来ました。

特に、職員の皆様方には、毎日の入所者の生活に対して心をこめた介助をしていただきまして誠にありがとうございます。保護者を代表して厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、これからの保護者会のあり方を、会長として如何にあるべきかを模索しながら、またその一方で、保護者の皆様にも今一度認識して頂きたい思いを申し上げます。

私ども保護者会は、昨年5月より今までとは違い、自立した保護者会として発足いたしました。  
この意味は、保護者会と施設は車の両輪であるという考えに立っています。

### 施設と利用者（入所者）の関係について

今日施設と利用者の関係は、「措置制度」から「契約制度」の時代が変わっています。

以下現在の制度の内容を念のため、簡単に説明いたします。

「措置制度」→身体障害者、知的障害者（利用者）に対し行政が必要性を判断し、入所者のサービスの種類や、提供機関（入所施設）を決定します。

「契約制度」→利用者が福祉サービスの提供者（入所施設）と対等な関係で契約する。

（3年に一度契約更新）

このことは、われわれ利用者が入所施設を選択できると同時に、施設側にも入所者を選択できることを意味します。これが、現在の国の制度に則っての利用者と施設の関係です。

### 保護者の結束

障害者に対して、総合支援法、虐待防止法、障害者差別解消法、などの新しい法律が施行され少しずつ改善されてきた様に見えますが、知的障害者に具体的な改善の実感はあまりないように思います。

加えて、われわれの穴山の里は、東京都外施設ということで、都内施設と補助制度においても差があり不利な条件になっています。

しかし、今後もこの現状下であっても、われわれの入所者は身内と遠く離れて、この穴山の里で生活をしていくわ

けですから“少しでも快適な生活環境にしてあげたい！”みなさんもこう思っているものと思います。

これを確保していくには、保護者が結束して施設の職員の皆様といっしょになって、入所者を守り、施設を支えて行くことが最善であります。

### これからの保護者会

○保護者会は今皆さんの一番の心配事は、

“今後入所者も保護者もますます高齢になっていった先はどうなるんだろうか？”

これが多くの保護者の考えていることではないでしょうか？

保護者の方は、毎月の面会も大変になって来ると思います。また、入所者も年齢が進むほど傷病が増え要介護者も増えて行きます。このことに簡単な解決策はありませんが、これから出てくる色々な問題は、其の都度皆様からの意見やアイデアを出し合って少しでも良い方向に行くように努力したいと思えます。

○また、高齢化の問題は、日本の国全体の話であり個人では如何ともしがたく行政の対応を待つことしかないと思えます。

○しかし、入所者の高齢化に対する対応は施設の高機能化、多様化をお願いして少しでも日々の生活が便利になるように努めて行くつもりです。

○保護者の高齢化は、保護者に代わる代理人又は成年後見人が保護者の代わりをすることに成りますが、いわゆる法律でいわれる“後見人”にとどまらず入所者の“保護者”として保護者会に積極的に参加していただきたいと思えます。

○保護者会は会員相互の親睦も図り皆様が入所者の施設での生活に関して問題点、疑問点、意見、要望があれば役員会が対応し、施設から回答をいただく等して皆様にお答えして行きます。

○そして保護者会は、今までにも増して、施設と丁寧な意見交換、情報交換を図って保護者の皆さんに今の障害者が置かれている状況、環境、また施設が国や東京都から求められている問題点などをお知らせして、施設と共通の認識を持って頂き、保護者の立場で、また最も身近な支援者として入所者の生活を守り、穴山の里および地域の発展に貢献して行きたいと思っております。

皆さま方の今後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 理事会・評議員会報告

開催日：平成26年12月5日（金）

開催場所：古名屋ホテル 会議室

審議次項：第1号議案 就業規則の変更について  
第2号議案 新施設の進捗状況 及び  
今後の展開について  
第3号議案 その他



平成26年度第3回目の理事・評議員会が開催されました。  
就業規則は法改正による整合性と新年度からの処遇について一部修正を提案し承認を頂きました。  
既に承認を頂いております新規事業について、進捗を報告すると共に今後の展開について報告し、ご意見を頂きました。

年が明け平成26年度も残すところ三ヶ月となり、各事業の取り纏めと次年度に向けての準備を行います。

## 表彰されました!



永年にわたり信和会の職員として勤務して頂き、多年にわたり社会福祉事業の推進に尽力されたとして表彰されました。

障害者支援施設 穴山の里 **窪寺 勝則**  
全国社会福祉協議会 **会長表彰**  
(平成26年度全国福祉大会にて)  
山梨県社会福祉協議会 **知事表彰**  
(第62回山梨県社会福祉大会にて)

特別養護老人ホーム 老人ホーム **野澤 佐知子**  
山梨県社会福祉協議会 **功労者表彰**  
(第62回山梨県社会福祉大会にて)



## M P P 研修



法人全体研修として、日本経営士会の外部講師をお招きして、5月・8月・10月とMPP (Management Professional Program) 研修を開催いたしました。具体的にMPP研修とは、実際に起きた事例(ケース)をチームで討議することにより、考え方の違いを相互に誘発しながら、共有することで、個人が持っていなかった、ものの見方、考え方に気づき、それらを修正したり、改める事で最善策を導き出す為の手法であり、課題分析や戦略策定に加わる、プロセス型の研修方法です。

「社員の意識改革」・「K 保育園の課題」というケースで実際研修しました。参加した職員より、今までにない、参加型の研修だった為、物のとらえ方の違い等新しい気づきも有り、大変勉強になりました。また、信和会は、福祉の仕事をしている立場から自然とケースを読み取っているため、「人」を中心に考えていることに気がきました。他業種の人が同じケースで研修を受けるとまた違った着眼点があるのではないかと、大変興味深い研修でした。と感想が出ました。職員の意識向上の為、このような研修を継続する事で新たな意識改革へ繋げて参ります。

# 穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
TEL0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



## ～関東地区知的障害者関係施設・群馬大会に参加して～



支援員 上田 宏敏

11月13、14日に公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会主催の関東地区知的障害関係施設種別代表者会議群馬大会に参加しました。私が参加した支援スタッフ部会のテーマは、「現場に活かせる実効性の高い危機管理体制の構築のために」でした。事例発表の施設同様、私達の施設も平成23年の東日本大震災の時は、15時間の停電、昨年2月の大雪では、交通網が麻痺し、職員が出勤不能になったり、物資が不足したことがあったため、情報を活用し準備の大切さを学び大変参考になりました。また、福祉施設内でのリスクマネジメントについて講演の中で、「人は必ずミスをする」を前提に事故防止に取り組む事とミスが起こっても事故につながらない仕組みを作る事が大事と言う話がありました。ミスの原因を探り、対策をす

当たり前の事ではあるが、安全は生み出す物であり、生み出すための事例としては、写真を見て危険予知訓練をすることで、危険に対するアンテナを立てる事が出来るそうです。日々支援をしていて、ヒヤリハットを書きますが、気づきを書き、データ化し、それらを最大限活用しなければ、ヒヤリハットもただの報告書となってしまったと感じました。また、ヒヤリハットシートを書きながら一件の危険回避ではなく一日の業務が振り返る事もでき新しい観点で、ヒヤリハットシートを見つめなおす機会になりました。

今回の研修で感じた事、学んだ事を職員で共有しこれからの業務に活かして危険に対する感性を磨いて行きたいと思えます。

## 寿司パーティー

平成26年11月4日に穴山の里  
寿司パーティーを実施致しました！！

毎年恒例の行事となっているこの“寿司パーティー”は、日ごろ日中活動を頑張っている利用者の方々への“労い”の意味を込め始めたのがきっかけとなり、今年で7回目を迎えました。当日は、朝から今日はお寿司だね。と楽しみにしていた利用者さんに、まぐろ・かんぱち・海老・穴子・サーモンたまご・たくあん巻き・かつぱ巻きと8貫のお寿司を振る舞い、さらに今年厨房の方々が“板前さん”に扮し、利用者の方々の目の前で握る実演“寿司パフォーマンス”を取り入れ、



利用者の方々は、実際に目の前で握られていくお寿司の様子に「穴山の里にお寿司屋さんが出来たみたいだね！」と皆さんとても嬉しそうな表情で教えてくれました。

また、今年は昨年度と比べるとお寿司の“ネタ”の種類も多く、高齢の利用者の方々には少し多いかなと少々心配でしたが利用者の方々は提供された“お寿司”をペロリとたいらげ、「もっとおかわり下さい」「もっとたくさん握って下さいー！」と言って、皆さん、おなか一杯になるまで食べて“おなか”も“気持ち”も満たされ楽しい寿司パーティーとなりました。



## 文化祭



11月21日(金) 穴山の里にて文化祭が開催されました。今年度は趣向を変えて、収穫祭を兼ねて実施することにして舞台発表は中止し、作品の展示と日中活動の様子を保護者の皆様に観て頂きました。



昼食は、利用者が作ったじゃがいも・大根・人参・白菜などを沢山使った豚汁とおにぎりでグラウンドにテーブルを置き、外での賑やかな食事となり具沢山な豚汁でおかわりが続出し大好評でした。

おやつは、やはり手作りのどら焼きを出しました。前日からどら焼きの皮を大量に焼きはじめ、収穫したさつまいもから作ったさつまいも餡は甘くやわらかく仕上がりに、こちらからも皆様から“おいしいね”と笑顔の一時でした。





農業奉仕班では、二班に分かれて日帰り行楽と一泊旅行を行いました。  
日帰り行楽班は、11月27日に利用者8名、職員3名で切り絵の有名な富士川町のクラフトパークへ行ってきました。天候も良く、利用者さん達も顔がほころんでうれしそうです。

食後は、散歩や遊具広場で遊び、切り絵美術館での鑑賞も忘れません。利用者さんはとても楽しかったようです。また、普段見せた事のない利用者さんの様子が窺え、職員にとっても有意義な一日でありました。



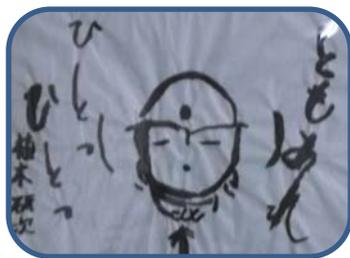
富士川クラフトパークにて

一泊旅行では12月3、4日に千葉県鴨川市方面へ、利用者7名、職員3名で行ってきました。一日目はアクアラインを利用し、海上からの眺めが素晴らしい海ほたるで昼食を摂りました。宿泊は鴨川・かんぼの宿。夕食には鮮度抜群の海の幸をお腹いっぱい頂き、恒例のカラオケ大会で皆さん自慢ののどを披露し合い大満足な様子でした。二日目は小雨でしたが、鴨川シーワールドで、山梨では観ることが出来ないイルカ、シャチ、アザラシ等のショーを堪能しました。



鴨川シーワールドにて

## 書道のクラブ紹介



利用者作品 心のほぐし絵より

書道クラブは今年度4月から始まった新しいクラブです。利用者5名と職員2名で、月1回のペースで活動を行っています。「とにかく、楽しくやってみる」ということをクラブのテーマにしています。皆、とても集中して行ない真剣な表情で取り組んでいます。書道を通して出来ることを伸ばしていけたらと思います。



## わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL: 0551-25-5866  
E-mail: [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



## 明けまして、おめでとうございます。

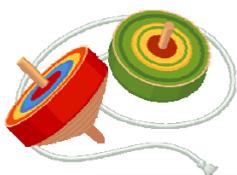
わ〜く穴山の里内に併設しております（共同生活事業所）サービス管理責任者の藤巻です。

共同生活事業では、G、Hで生活をする利用者様の生活のお手伝いを業務としており、5棟のホーム24名の方を職員及び世話人で、日々の支援を行っております。



G、Hは、【家庭】であることを常に念頭に置き、居心地の良い環境作りを目指しております。

また、余暇時間の充実を図り、太鼓の演奏・野菜作り・外出等を企画し活動しております。その中から、ご自身にあったやりたいこと・好きなことを見



つけていただけたらと思っております。

知的障害のある方は、健常者に比べ【経験・体験】が乏しく、選択肢も少なくなってしまうことから、食べたいもの・行きたいところ・欲しいもの・そしてやりたいことが画一化されがちです。

今年は、一つでも多くのことを経験していただき、【自分らしさ】作りのお手伝いができるように努めてまいります。



# 穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



## ユニットケアの取り組みについて

フロアリーダー 小尾 美香

穴山の杜開設以来、個別ケアを重視した“ユニットケア”を推進してきましたが、今年度からさらにその介護の本質を理解し、よりレベルの高いユニットケアを進めることが年度方針で決まりました。それを実践するために、施設内研修が活発に行われています。

ユニットケアとは、「暮らしの継続であり入居される方が施設に入っても自宅と変わらず生活が送れるよう支援する事」です。現在亀フロア（3ユニット）では、ユニットを住まいと思えるようにするにはどうしたら良いかと言う事を日々考え、さまざまな取り組みを行っています。

まず、食事を美味しく楽しく召し上がって頂く為に、炊飯と味噌汁作りを始めました。ユニットにお米の炊き上がる匂いや味噌の香りが漂い、ご飯を待ち焦がれる利用者もいます。また、炊きたてのご飯を提供するので、「美味しいね」と言って食欲がアップされた方もいます。家庭的な食器を購入し、ユニットで盛り付けを行っている所もあります。次に、居住間作りに力をいれました。利用者が自宅にいるようにくつろいで頂ける家具の配置の見直しや、和を重視している所はこたつを置き、利用者に喜んで頂いています。つい立てを置き空間を仕切り、入口に下駄箱を置き、玄関という認識。



また、施設感の強かったテーブルを止め家庭で使われているテーブルに変え、テーブルクロスを敷き四季の花を飾りました。利用者目線にする為に、時計やカレンダー・絵画などの掲示位置を下げ、見やすいよう配慮しました。和で統一した所や洋風になっている所等各ユニットさまざまです。その他にも、職員の制服を私服に変え、足音を考慮しシューズからスリッパに変えバタバタ感をなくしました。

現段階で行っている事はまだまだほんの一部でしかありません。利用者に住みやすいユニットを提供できるようこれからも努めていきたいと思っています。



## 発表します

来月、2月1日アピオ甲府にて開催される第6回山梨県老人施設協研究総会において、鶴1丁目の介護士 千葉一樹、介護士 清水みなさんが『笑顔ある生活を目指して』と題して発表を行います。



# 冬三トピックス

10月22日甲府法人会女性部の皆様、慰問に来て下さり、フラダンスを披露して下さいました。



振付けの由来や“アロハ〜”の意味なども説明して下さい、とても本格的なフラダンスに皆さん見惚れている様子でした。

11月28日初花会の皆様、東京五輪音頭などの曲にて舞踊やマジックショーも披露して下さいました。マジックショーでは、白い鳩も飛び出し、利用者からも歓声が上がっていました!日本舞踊では、艶やかな着物姿の舞にパッと花が咲いたようでした。



10月14日と12月11日に、穴山保育園の園児が慰問に来て下さいました。可愛い・カッコいい衣装を纏って、一生懸命にお遊戯を披露して下さいました。利用者からは笑顔が見られ、園児との交流を楽しみました。

# クリスマス食



12月24日クリスマスメニューとして、昼食ににぎり寿司を楽しみました。久しぶりのお寿司に、皆さん目を輝かせ、寿司職人が目の前でにぎってくれたお寿司を堪能しました!



11月30日にレク活動推進委員会企画の“パン宝探し”が実施されました。皆さまに好まれているパンを、普通に提供するだけではなく、お祭りの屋台のように、ボックスから出ている紐を選んで引っ張って、あんパンやクリームパンなどを取り出して食べたり、他にもサエさん体操やカラオケなども楽しみました。

# パン宝探し



12月26日毎年恒例の餅つきを行いました。「よいしょ〜」とかけ声しながら、臼と杵で搗いた、出来立てのお餅を味見し「美味しい!」と利用者より笑顔が見られました。

# かどまつ

今年も 山田恭男様より門松をいただき 素敵な年明けを迎えました。ありがとうございました!!



## 感謝録

(平成26年9月16日から平成26年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)  
ありがとうございました。感謝いたします。

櫻井鴻朔・櫻井民子・岩下幸夫・外川勝也  
榎本陽雄・津金富久・細田設備・小森照文  
東芝エルイノベーション(株)・山梨県中北農務事務所

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

### ☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・  
長坂泰子・小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・  
田中康子 (絵画指導)・甲府法人会10名  
初花会5名・渡辺郁子

## ・歌碑を巡る旅・

平成25年に穴山町内の公民館に建立しました、『権藤はなよ』さんの歌碑を紹介致します。

今回は、法人がある次第窪地区の公民館です。

## 『お月さん』



## 積雪に備えて

昨年は記録的な大雪に見舞われ、交通機関はもとより生活にも支障をきたしました。

ライフライン確保のための除雪は大変だったという記憶は誰しもが残っています。

今年の積雪による除雪に備えて、この度、穴山の里農業班による耕作と整地などに使用できる機能を兼ね備えたトラクターを購入致しました。部品取り替え等により除雪機に変身致しますので、利用者様も安心して生活できる事と思います。



## 訪問録

(平成26年9月16日から平成26年12月15日)

### ☆教育実習 (敬称略)

◎優和福祉専門学校

青木智廣・西川咲希・横田春香・柳澤健斗  
小澤 仁・板山 厚・村松えり

◎山梨学院短期大学

兵藤真子・齊藤梨花

◎帝京学園短期大学

小田切美聡・倉坪桃香

◎日建学園

清水正子

### ☆社協職場体験 (敬称略)

◎志村和俊

### ☆職場見学 (敬称略)

◎長野県知障協佐久支部会

◎高根町あつみ地区民生委員 篠原様 他4名

## 求人情報

正職員・パート職員募集

### 事業所

★穴山の里(生活支援員)

免許・資格 不問

★穴山の杜(介護職員)

経験者及び有資格者 優遇

問合せ先 0551-25-6100 求人担当 深沢

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

年が明け一段と寒さが厳しくなりました。厳しい自然の中で、かわいらしく紅い実をつける藪柑子(やぶこうじ)のように、職員一人一人の個性を職場、地域で光らせ、穴山に根ざした法人運営をして参ります。